

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表平11-511124

(43)公表日 平成11年(1999)9月28日

(51)Int.Cl. ⁸	識別記号	F I	
C 0 7 K 7/06	Z N A	C 0 7 K 7/06	Z N A
A 6 1 K 31/00	6 0 1	A 6 1 K 31/00	6 0 1 C
	6 0 3		6 0 3 N
	6 1 1		6 1 1 C
	6 1 7		6 1 7 E
審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全105頁) 最終頁に続く			

(21)出願番号	特願平9-505989	(71)出願人	バイオジェン, インコーポレイテッド アメリカ合衆国 マサチューセッツ 02142, ケンブリッジ, ケンブリッジ セ ンター 14
(86) (22)出願日	平成8年(1996)7月11日	(72)発明者	リン, コーチュン アメリカ合衆国 マサチューセッツ 02173, レキシントン, リンカーン スト リート 253
(85)翻訳文提出日	平成10年(1998)1月12日	(72)発明者	アダムス, スティーブン ビー. アメリカ合衆国 マサチューセッツ 01810, アンドーバー, パークレー レー ン 12
(86)国際出願番号	P C T / U S 9 6 / 1 1 5 7 0	(74)代理人	弁理士 山本 秀策
(87)国際公開番号	W O 9 7 / 0 3 0 9 4		
(87)国際公開日	平成9年(1997)1月30日		
(31)優先権主張番号	0 8 / 4 9 8 , 2 3 7		
(32)優先日	1995年7月11日		
(33)優先権主張国	米国 (U S)		
		最終頁に続く	

(54)【発明の名称】 細胞接着インヒビター

(57)【要約】

本発明は、細胞接着および細胞接着媒介性の病理の阻害および予防に対して有用な新規の化合物に関する。本発明はまた、これらの化合物を包含する薬学的処方物ならびに細胞接着および細胞接着媒介性の病理の阻害および予防に対してこれらの化合物を使用する方法に関する。本発明の化合物および薬学的組成物は治療剤および予防剤として使用し得る。これらは特に多くの炎症および自己免疫疾患の処置に対して非常に適切である。